



おうち時間を過ごす中で

出産してから我が子とこんなにも長い時間を一緒に過ごすのは初めての事。貴重な時間に思えて仕方がない時があれば、一人で何も考えずにゆっくりしたいなと思う時もあり、楽しくて仕方がない時があれば、お手上げ状態になる時もあります。でも母親である私がそう思うのだからきっと子どもたちも同じ。そんな訳で親子喧嘩たくさんしています。きょうだいの喧嘩もいつにもまして多発。恥ずかしながらそれが我が家の現状です(^ω^)

普段だったら、子どもたちも学校や学童、保育園でそれぞれの友達や先生と過ごす時間があり、私にも職場で過ごす時間がある。お互いに色々な人と関わり、色々な感情を経験してきた上で、バタバタしながらもホッとできるのがおうちじかん。

今は、一日の色々な出来事や時間が家族の中でぎゅーっと凝縮されている分、喜怒哀楽が目まぐるしく展開されていくのも仕方がないことなのかなと思いながら、子どもたちと一緒に笑い転げたり、怒ったり、鬼のようになってたり、優しい眼差しに戻ったりしています。

休校や休園が長期化する中で、3歳の次女でさえ、「しんがたころなういるすのえいきょうで」という言葉を覚え、姉と2人で「いまはころなういるすだからしょうがないよね」「しんがたころなういるすがおわったらいこうね」などと会話しています。

大人はニュースを見たり、情報を得たりする中で、自粛生活の必要性を理解して過ごす事ができますが、子どもたちはこの数か月の間、よくわからない状況の中、小さな体と純粋な心で本当によく頑張っていると思います。

毎日色々ありますが、ふとした時に子どもたちの気持ちになって考えてみると、先も見えず、よくわからない状況の中、本当によく頑張っているなと無性に愛おしくなります。これから先も日常が完全に戻るまでにはまだまだ乗り越えなきゃならない事がたくさんあると思いますが、普通では経験することのできない感情を沢山経験してきた分、大きな心の成長が得られると信じて一緒に乗り越えていければと思います。

ただ、毎日長い時間を一緒に過ごしていれば、綺麗事では済まない事もたくさんありますよね。

私自身も言いすぎちゃったな…と反省する事沢山ありますが、子どもはお家の方の事が大好きです。どんなに憎まれ口を叩いても、どんなに大騒ぎしても心の奥の奥には必ず“だいすき”と言う大前提があります。そんな事を頭の片隅に置きながら、自分のことも大切に、頑張りすぎず、行き詰った時や不安でいっぱいな時にはどうぞ保育園に連絡くださいね！

